

木島平の教育

2026版

～協同の学び～



「協同の学び」による授業

木島平村は、平成22年度より授業改善を中心とした学校づくりを進め、小中学校の教職員や村民の皆様とともに「ふるさと木島平を心に刻む教育」の実践の充実に取り組んでいます。

その充実を図るために、「協同の学び」による授業に取り組んでいます。そして、すべての子どもの学びを保障する教育の実現によって、「将来にわたって学び続ける子どもの育成」の実現を目指しています。

協同の学びによる授業は、毎日、毎時間、教育活動全般において、すべての教師が取り組みます。特別な日だけの、よそ行きの授業ではありません。

子どもに寄り添い、すべての子どもの学びを保障し、みんなが協同の学びを続ける中で、人間関係の構築と学力向上を同時に進めます。そして、支え補い合う共生する精神を育みます。



協同の学び

教師が子どもの内なる声に寄り添い、グループでの学習を取り入れた授業スタイルのもと、「これ、わからないから教えて」と友だちに尋ねられたり、子どもの「わからない」を共通の課題にした授業づくりを行ったりすることで、友だちと互いにケアし合いながら、どの子どもも「夢中になって学ぶ」ことが期待できます。

さらに、より質の高い課題に対峙しても、友だちと探索的な対話でつながり、納得解を求めて学び続ける子どもの育成につながります。

◆ 協同の学びとは？

対話的コミュニケーションを基盤として、課題について少人数で互恵的に学ぶことです。

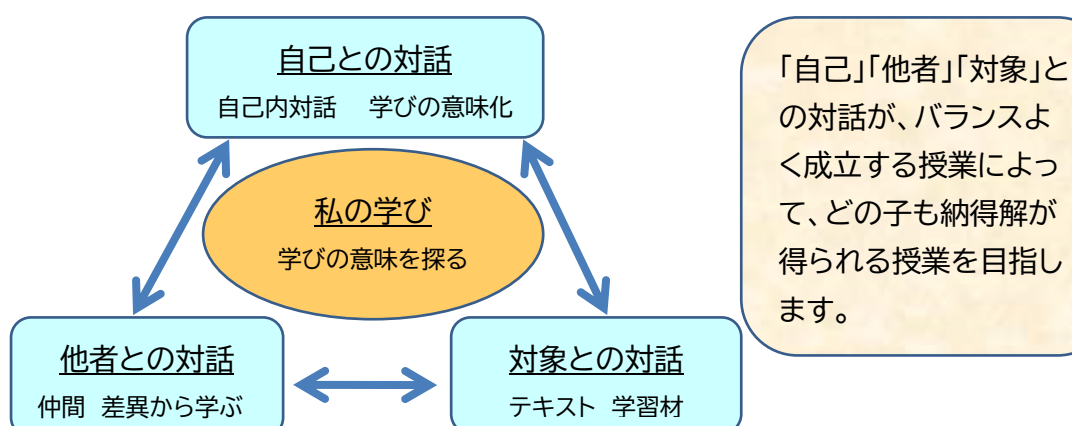
○対話的コミュニケーションとは、「聴く、問う」ことから始まる言語活動のことで、子ども同士や子どもと教師の間に聴き合う関係が構築されるほど活性化します。

○互恵的とは、互いの心や体と対話し、その状況に共感してかわる様を示します。

○協同の学びでは、どの子どもも学びに参加することを余儀なくされ、すべての子どもに「学ぶ権利」を保障することができます。

○探索的会話では、「なぜそう思うのか？」という根拠を示し、他者の意見を材料にして、自分の考えを更新し続けることが出来ます。

◆ 三つの対話を大切にします。



◆ 聴き合いの関係を大切にします。

協同の学びによって、学びを深めるために、次の4点を大切にしています。

- 「わからない」と言えること
- 友だちの声に耳を傾けられること
- 自分のわからなさを追究すること
- 共に問いを深める探索的なやり取りを大切にすること

◆ 課題設定を大切にします。

- 子どものわからないに寄り添った課題設定
- 学習内容の本質を見極め、より「質」の高い課題を設定
- 学習内容が日常生活や社会とつながっている課題を設定
- 課題の発見・解決に向けて主体的で対話的、探究的に学ぶ学習(アクティブ・ラーニング)の成立

協同の学び

《協同の学びの風景》

中学校



学びのスタートは「ねえ、ここどうするの？」から始まります。できる子どもが教える「教え合う関係」ではなく、わからない子どもが尋ねることから「協同の学び」がスタートします。

小学校



グループで学ぶことで、一人一人では解けない問題を自分たちの力で乗り越えていきます。問題の解決に向け、互いに支え補い合うことで、集団的思考が高まっていきます。

中学校



男女一緒の4人グループで学ぶことで、互いの考えや思いが伝えやすくなります。友だちの考えにふれ、自分の考えを深めたり、修正したりして、自分なりの解決を導き出していきます。

小学校



小学校低学年では、教師と児童のかかわりを大事にし、教師は、「聴く」「つなぐ」「もどす」の関係を大切にします。教師は、児童の声や表情を丁寧に観察し傾聴します。

中学校



互いの考えを聴き合うことで、「聴く、問う」を基盤とする対話的コミュニケーションが盛んに行われます。対象への「気づき」を広げ、新たな見方や考え方を獲得していきます。

小学校



教師は、わからない子どもに寄り添い、「友だちに『ここ教えて』って言ってごらん？」と促し、子ども同士をつないでいきます。どの子の学びも保障する関係づくりが大切です。

協同の学び

協同の学びによって育まれていること

- 多くの子どもが、「みんなで協力して何かをやり遂げられて嬉しい」という満足感や達成感を味わっています。また、「クラスの一員として、自分が認められ、必要とされている」という自尊感情や自己有用感、自己肯定感が、心の中に育ってきています。
- 協同の学びの授業づくりによって、滑らかな小中接続が実現しています。

小学校



仕組み

毎日の授業によって、2つの課題を同時に解決します！

心の教育

授業でつながりをつくります

いじめや問題行動、不登校など人間関係をきっかけとするトラブルを未然に防止します。

互いに支え補い合いケアし合う 生活集団の育成

(ケアリング・コミュニティの創造)
安心・居場所感のある教室づくり。

学力向上

一人一人の学びを保障します

学力差への対応、質の高い課題、探究と協同の学びで、すべての子どもの学びを保障します。

共に学び合う学習集団の育成 (ラーニング・コミュニティの創造)

活動と対話のある協同する学びを展開します。

協同の学びを基盤にした学び合いを核にします

心の満足度を見取ります

質問紙や子どもとの対話によって、自己肯定感の高まりを確認します。

学力の高まりを見取ります

各種テスト・調査によって、一人一人の学びの保障について確認します。

協同の学びによる授業は、「心」と「学び」を同時にケアします。

私たちは、子どもとともに、「木島平村のひと・もの・ことにふれる地域に根ざした学習」と、「仲間と協力し合って課題解決に取り組むこと」に挑戦しながら、より質の高い授業を成立させ、すべての子どもの「学び」の育成を目指します。